

2008 年度

科目名 書論・鑑賞 A	対象学科・学年 文学部日文3回生	担当者 竹下 麻子
授業テーマ 書くことの意義を捉え、書かれたものを知る。		
授業の概要と目標 古代の日本において「書」とは何かを考え、古筆のかずかずを鑑賞する。		
評価方法 出席状況と受講態度、授業中に提出してもらった感想文なども考慮し、期末試験の成績とともに評価します。		
テキスト プリントを配布します。	著者	出版社
参考書 授業中に紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1、古代日本での書くことの意味 I 2、古代日本での書くことの意味 II 3、平安時代の書物 I 4、平安時代の書物 II 5、平安時代の書物 III 6、装飾料紙 I 7、装飾料紙 II 8、古典書写はどのようになされたか I 9、古典書写はどのようになされたか II 10、古典書写はどのようになされたか III 11、古代名筆の鑑賞 I 12、古代名筆の鑑賞 II 13、古代名筆の鑑賞 III 14、古代名筆の鑑賞 IV 15、試験		